

医療安全情報レポート Vol.49

働くみんなの医療安全 早期発見！迅速な対処！輸液の血管外漏出

輸液を投与中、血管外漏出に気づくのが遅れ、治療を要した事例が報告されています。投与している薬剤（抗がん剤など）によっては周辺組織への影響があるため注意が必要です。

早期発見！

観察のポイント

- 炎症徴候の有無
(発赤、腫脹、熱感、硬結、水疱、疼痛、血管痛…など)
- 薬液が漏れて刺入部付近が濡れていなか
- 輸液ポンプから外し、自然滴下するか
- 逆血の有無
- 刺入部だけではなく腕全体はどうか
- 投与側の刺入部との左右差はあるか
……など

！
血管外漏出してても輸液ポンプのアラートは鳴りません



点滴の滴下を確認するときはひとつひとつ目視で確認しよう

ボトルみて

点滴筒みて

レートみて

クレンメ
三方活栓みて

テープ固定みて

刺入部までみよう！

//迅速な対処！//

血管外漏出を発見したら、
自施設のマニュアルに沿って速やかに対応しましょう